
輸出支援プラットフォーム（台湾）の 2026年度の活動について

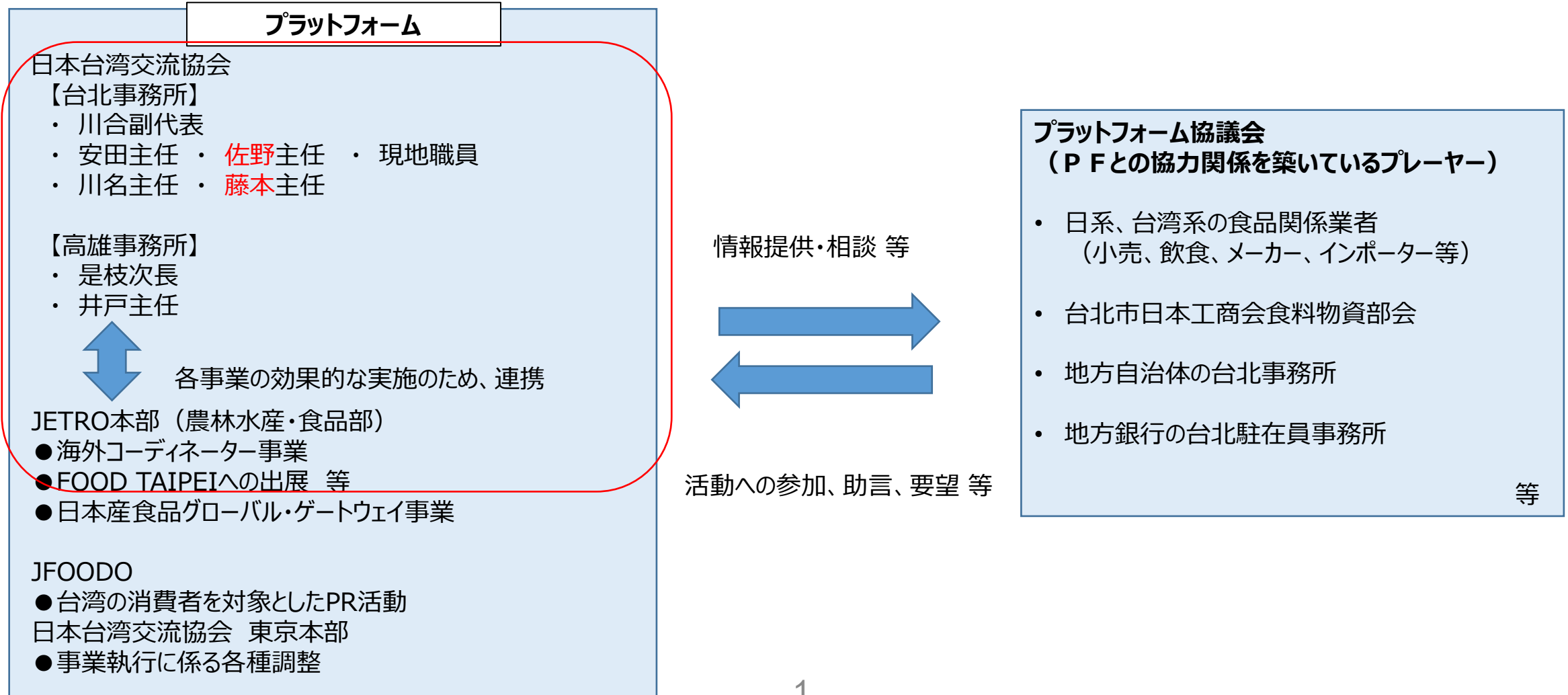
2026年7月8日

日本台湾交流協会

農林水産物・食品輸出支援プラットフォーム（台湾）

プラットフォームの体制（2026年）

- 日本台湾交流協会、JETRO本部、JFOODOでプラットフォームを構成。輸出促進に向けた各活動を実施。
- 今回の協議会では、下記赤枠部分の活動についてご紹介。



I 輸出支援プラットフォームの今年度の活動

プラットフォームの活動骨子（2026年）

台湾での課題

- ・外食・・・台湾レストラン市場の営業額は昨年過去最高を記録（1兆674億台湾元）
外食店による日本産食品の使用を更に促進するための取組が必要。
- ・加工・・・食品加工業者（メーカー）の発掘まで手が届いていない。
- ・地方都市・・・台北周辺と比較してまだまだ情報が少ない。

解決のための事業を組成



- ・日本産食品を使った製品開発等に関心を有する外食、メーカー等、非日系事業者へのアプローチを支援
- ・台中、台南、高雄といった地方都市の事業者に対する商流拡大を支援する取組

事業の実施で意識していくこと

- ・都道府県、フラッグシップ産地との連携

今年度活動計画

●FOOD TAIPEI 2026

6月24日（水）～27日（土）の4日間開催。

PFでは、昨年に引き続き、ジャパンパビリオン及びそれ以外の日本産食品を出展するブースの情報を横断的にまとめたリーフレットを作成。

（掲載数：ジャパンパビリオン65団体、その他42団体）

また、JFOODO事業の一環で、①調理デモ・情報発信ブースの設置、②現地小売り（サポーター店）との商談とバイヤー関心商品に関する展示会後のプロモーションを実施。



日本産食品リーフレット

●ペットショー出展

日本のペットフード関連企業（14社・1団体）と台湾バイヤーとのビジネスマッチング組成を目的に、TAIPEI PETS SHOW（7月3日～6日）へ出展。

●2026高雄国際食品見本市出展

フラッグシップ輸出産地向け事業として、高雄国際食品見本市（10月22日～25日）にジャパンパビリオンを設置（出展料無料）。現在、出展者様を募集中（申込締切：7月17日）。

今年度活動計画

●日台高雄フルーツ祭り

8月1日（土）～2日（日）に消費者向けフルーツPRイベント「日台高雄フルーツ祭り」開催予定。ブース出展の声掛けを行い、PFからの声掛けにより**13事業者**が出展予定。

●非日系有力バイヤーの日本への派遣

10～12月頃に実施予定、東北地方で検討中。JETROと連携して商談会を実施することとし、派遣先の要望に合わせてバイヤーを招聘予定。現在、自治体の意向を確認中。

●バイヤーに対する日本産食品メニュー提案イベント

シェフや仕入担当、外食店と繋がりのあるバイヤーを対象とした日本産食品のメニューのPRイベントを11～12月頃に計画中。**フラッグシップ産地**との連携。

<去年は次の品目で実施>

静岡（どんこ×日本酒） 群馬（こんにゃく×梅酒） 青森（リンゴジュース×日本酒）
秋田（稲庭うどん×日本酒） 宮崎（辛味噌、金柑×リキュール） 熊本（牛肉×ワイン）

今年度活動計画

●メーカー向けエデュケーション

台湾の食品加工メーカー（仮）の商品開発や購買の担当者を対象に、日本産青果及びその加工品に関するPRを実施、日本の事業者との交流会を9～1月頃実施検討中。PRの場では**日本産青果及び加工品の魅力を伝えるプレゼン**を計画。今後、メーカーへ提案、要望の聞き取りを行う予定。

●商談会の実施（台北）及び（台中or高雄）

2つの商談会を2月中旬（春節後）～3月の開催を予定。
台北では**フラッグシップ産地**と連携。

●各種レポートの新規作成及び更新

2026年度版の**台湾消費者動向調査**、品目別レポート（**乳製品、茶**）を今年度中に作成予定。既存レポートについても、**市場の追加調査**や**事業者からの寄稿**を追加予定。また、ジェトロウェブサイト「農林水産物・食品の輸出支援ポータル」における制度調査を実施。対象は、①コメ、②鶏卵、③畜産加工品、④健康食品、⑤ペットフード

今年度活動計画

●海外コーディネーター、海外展開アドバイザー事業

<海外コーディネーター>

交流協会が契約するコーディネーターによるレポート作成やブリーフィング等輸出相談サービスを実施。企業規模を問わず企業・農林漁業者・各団体・自治体が対象。果物、酒類、水産物、加工食品など幅広い分野で、該当商品の市場性や各種規制などの情報を提供。

<海外展開アドバイザー>

今年度から新たに海外展開アドバイザー事業開始予定。

海外展開アドバイザー・・・現地の法務、税務等の規制又は商慣行に通じた専門家を配置し、輸出支援プラットフォームを補佐し、食関連事業者の現地における海外展開等に向けた相談対応を行う。

食関連事業者（特に飲食店関係を重視）の海外展開相談サービスを実施予定。

(参考) 台湾PF 日常業務

●PFが有するバイヤー人脈等を活用した支援

- 構築した人脈（バイヤーリスト）を活用し、照会対応。
- ジェトロ主催の**バイヤー派遣推薦**依頼に対応。
- PF以外が行うイベントや取組について情報発信。
(例：日本食・食文化振興協議会主催「日本料理店における招聘研修」)
- 毎月台湾FDA**不合格情報発信**。

●ブリーフィング、照会対応

要望のあった事業者、自治体などに対して台湾の概況、PFの活動内容を説明。
その他、照会があれば分かる範囲で対応。

●各種レポートの見直し

統計情報の更新、農薬基準の改正等に伴い適宜修正。

Ⅱ 水際、規制関係

台湾当局へのコンタクト・働きかけ

台湾における制度の見直し等の働きかけ

- フグの輸出解禁
- トマトの輸出解禁
- 高病原性鳥インフルエンザの地域主義の適用
- 残留農薬基準の見直し
- 各種施設登録 など

通関等への支援

- 衛生当局
- 検疫当局
- 税関
など

規制緩和等の新たな協議案件は、
政府計画（輸出実行計画※）に位置づけた上で、
政府一体となって実施

検討中：衛生当局との意見交換の実施

※来年の見直しにあたり、
別途案件募集を予定



Ⅲ 意見交換のテーマ

意見交換テーマ

＜PF事業について＞

①今年度の活動について

- 関心がある、連携可能な事業について
- 今年度事業に関するご要望、ご質問

②来年度以降求める事業のご要望、アイデア

- (例) ・レポートで取り上げてほしいもの（畜産品、米等の品目別レポート等）
・B to Bの取組（商談会の開催、バイヤーの日本への招聘、エデュケーション事業等）

＜その他について＞

③今後の本協議会について

- (例) ・開催頻度、時期
・事業者からの自社の取組ご紹介

④その他

- (例) ・FOOD TAIPEIでの成果、感想
・その他お困り事項 等